

# 令和7年度 事務事業評価シート（1）

## 【令和6年度事務事業】

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	SMIプロジェクト推進事業			事業番号	017-066	
担当部署名	建築都市	局	交通	部	交通政策	課

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～		施策	(3) 人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立		
		寄与するKPI	有	取組の方向性	④新たな交通システムの導入					
			有・無	指標名	堺東駅・堺駅の乗降客数（定期利用者を除く）					
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有	現状値	43,835人/日(合計)(2019年度)	目標値	45,000人/日(合計)(2025年度)			
			有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		ターゲット	11.2		
		有	取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化						
寄与するKPI	有・無	指標名	—							
	無	現状値	—		目標値	—				
2	関連計画	「堺グランドデザイン2040」、「堺市都市計画マスタープラン」、「堺都心未来創造ビジョン」、「堺駅・堺旧港周辺活性化ビジョン（案）」、「堺観光戦略」、「堺スマートシティ戦略」、「堺環境戦略」、「堺市移動等円滑化促進方針」、「堺市交通バリアフリー基本構想」								
3	事業開始年度	— 年度			終了（予定）年度	令和 12 年度				
4	実施根拠	「交通政策基本法」、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」、「道路法」、「道路交通法」、「軌道法」、「道路運送法」、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」								

#### 事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、民間企業								
6	事業の対象	堺市民及び市外からの来訪者						対象数	単位	
7	事業の目的	堺都心部における回遊性の向上、堺都心部と美原を結ぶ東西交通問題の改善、脱炭素への寄与などにより、堺都心部の魅力向上と活性化を図る。								
8	事業内容	<p>【SMIプロジェクト（素案）の概要】</p> <p>取組の方向性：ウォーカブルな都市空間の形成、バリアフリーな都市空間の形成、生活利便性や回遊性を高める情報・サービス連携、公共交通の利用促進と脱炭素化、拠点間ネットワークの構築</p> <p>【スケジュール】</p> <p>&lt;令和3年度&gt; ・SMIプロジェクト（素案）の作成・公表</p> <p>&lt;令和4年度&gt; ・SMIプロジェクトにかかる市民意見募集</p> <p>・SMI都心ライン及びSMI美原ラインの実証実験</p> <p>&lt;令和5年度&gt; ・「SMI都心ライン等推進協議会」及び「SMI都心ライン自動運転技術等検討分科会」の設置・運営</p> <p>・都心回遊性向上実証実験</p> <p>・SMI美原ライン実証実験</p> <p>&lt;令和6年度&gt; ・「SMI都心ライン自動運転社会実装推進事業コンソーシアム」及び「SMI都心ライン地域コミティ」の設置・運営</p> <p>・「SMI都心ライン及び関連取組に関する導入計画（案）」の作成、説明会等の実施</p> <p>・SMI美原ライン実証実験</p>								
	※国・府の基準より上回って実施した内容									
9	主な支出先	民間企業（コンサルタント、バス運行事業者等）								
10	公民連携・協働事業	民間企業との連携、ART導入技術検討体制（今後設置予定）								

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

11	堺東駅・堺駅の乗降客数（定期利用者を除く）	単位 人/日	実績		目標	目標 終了（予定）年度	
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和12年度	
			目標値	43,900	44,100	45,000	—
			実績値	40,877	42,708（速報値）		
	達成率	93%	—				
	当該指標を選定した理由	都心部への来訪者のアクセス拠点である堺東駅・堺駅の乗降客数を確認することで、都心部の活性化状況を把握することができるため					
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市基本計画2025において設定しているKPI					
12	SMIプロジェクトの実現に向けた取組の実施（計画策定、実証実験、業務委託など）	単位 回	実績		目標		
			令和5年度	令和6年度	令和7年度		
			目標値	5	5	7	
			実績値	6	4		
	達成率	120%	80%				
	当該指標を選定した理由	SMIプロジェクト（素案）公表後、実証実験などを段階的に進めることで、SMIプロジェクトの実現につながるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	来年度予定している取組の件数（実証実験、委託業務など）					

## 令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	SMIプロジェクト推進事業	事業番号	017-066
-------	---------------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	34,799	49,937	225,809	20,196	281,883
13 財源内訳	国支出金	0	160,100	0	148,716
	府支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他 ( )	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0
	一般財源	34,799	49,937	65,709	20,196
14 人件費 (b)	31,160	30,780	37,260	37,260	40,320
15 年間経費 (c)=(a)+(b)	65,959	80,717	263,069	57,456	322,203

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
					R6	R7		
16 事業費内訳	SMI都心ライン等推進協議会負担金	R6	0	0	その他	R6	1,233	1,233
		R7	183	183		R7	848	848
	SMI都心ラインにかかる実証実験負担金	R6	0	0		R6		
		R7	158,011	19,610		R7		
	SMI美原ライン実証実験負担金	R6	13,683	13,683		R6		
		R7	17,972	17,972		R7		
	SMIプロジェクトに係る実証実験実施支援業務【拡充】	R6	5,280	5,280		R6		
		R7	15,657	15,657		R7		
	ARTステーション・デジタルサイネージ実証実験等【拡充】	R6	0	0		R6		
		R7	89,212	78,897		R7		

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和5年度	令和6年度
		① SMIプロジェクトの実現に向けた取組の実施	回
② 上記①にかかる年間経費	千円	80,717	57,456
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	13,452,833	14,364,000
算出についての説明等			

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

SMI美原ラインについては、実証実験の実施及び実験に伴う調査分析の実施を行い、目標通り達成した。  
 SMI都心ラインについては、「SMI都心ライン及び関連取組に関する導入計画（案）」を作成することができた。また、実証実験については、補助金の採択見送り結果を受け、本市主体では実施できなかったものの、国との協議・調整により、国主体での自動運転実証実験を実施することができた。実績値は目標値を下回ることとなったものの、事業が計画段階から実証段階に移行したことで、単位当たり経費は微増となった。加えて、令和7年度以降の実証実験を円滑に進めるため、SMI都心ラインの実現に向け、バス運行事業者や自動運転関連事業者からなる「SMI都心ライン自動運転社会実装推進事業コンソーシアム」や、レベル4の認可取得に向け協議・調整を行う「SMI都心ライン地域コミティ」を設置し、推進体制を構築した。また、導入計画（案）についてオープンハウスを実施することで、市民との対話を通じて、自動運転等に対する社会受容性の向上につなげることができた。

#### KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

基本計画2025に示す施策「人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立」にあたり、「SMI都心ライン及び関連取組に関する導入計画（案）」の作成後、オープンハウスで市民のご意見を伺いながら事業説明を行ったところ、堺都心部における便利・快適な移動環境の構築を期待する意見があった。  
 また、SMI美原ライン実証実験では、堺駅方面で1便あたりの利用者数が増えた。  
 このようなことから、本事業の目的である便利・快適な移動環境の構築や地域公共交通の維持・確保に寄与した。